

エイナーと二つの六日間

『君は変身を遂げる。』

君は、カモメ。

長くまっすぐな白い翼を潮風にのせ、君は、夜の海を旅していく。

大きく羽ばたく。

見ろ、前方に、月を戴く島が。

島の中央には、銀に輝く青の真中山エイレスイェルアトゥアがそびえている。月光を浴びる峻厳な姿に、君は心をからめとられる。

さらにひと羽ばたき。

沖へ出てくる、輝かしい黄金の光が、踊りはじめる。野性的でない、静かで穏やかな光。文明を思わせる、あの安堵をもたらす光は、君の方へ、歌と權による規則正しい音楽をも届けてくる。

さあ、君はもつと懸命に羽ばたく。小舟に掛かる小さな灯シシモト、踊る波の反射、それらがさらに、君を引き寄せ……………」

つくりの人 カメイユ著『地の子ども』より